

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住之江区
学 校 名	南港みなみ小学校
学校長名	藤本 哲

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・南港みなみ小学校では、第6学年 58名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

各教科の平均正答率は、算数科においては、大阪市・全国平均よりもやや上回る結果となった。また、国語科および理科においては、大阪市・全国平均を下回る結果となった。

各領域ごとに見ると、算数科では、「C変化と関係」のみやや下回り、他の領域においては同じまたはやや上回っている。国語科では、「C読むこと」で市・全国と差があることがわかる。理科においては、特に「生命」を柱とする領域が全国より大きく下回り、無答率も高くなっている。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

学力向上支援チーム事業において研究教科を国語科とし、表現力の向上に取り組んでいる。そのため「A話すこと・聞くこと」については、市・全国との差が他領域に比べて小さく、一定の成果が見られる。また、無答率が市・全国より低く、自分の考えを表現しようとする意欲はみられる。しかし、全体的にどの領域においても大阪市・全国の平均より下回っており、特に、「C読むこと」で市・全国と差があることがわかる。

### 〔算数〕

算数科においては「A数と計算」領域と「B図形」領域で市・全国の平均正答率を上回っている。しかし、「C変化と関係」については、下回っている。領域間の差をなくすよう、来年度以降も継続的に成果が得られるような取り組みにしていく必要がある。

### 〔理科〕

理科においては、「地球」を柱とする領域のみ、市・全国の平均正答率を上回っているが、その他の領域においては下回っている。また、無答率も市・全国の平均より高い結果となった。基礎・基本の定着と自分の考えを表現する力の向上が課題である。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか。」の質問に対し、肯定的な回答をした児童の割合は、市・全国と比べるとやや低い。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は90%を超えている。引き続き、先生だけでなく友達同士でも認め合う機会を増やし、自尊感情を育てていきたい。

また、「読書は好きですか。」の質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合が市・全国より低い結果となった。読書習慣の定着を図りたい。

## 今後の取組(アクションプラン)

昨年度に引き続き、児童の課題を受けて国語科を研究教科とし、全教員で研究授業に取り組み、児童の国語科における学力向上に取り組んでいるところである。児童が興味をもって主体的に取り組み、自分の考えを表現する力をつけることができる授業実践を目指して進めている。教員の授業力向上により、わかりやすい授業づくりにも継続して学校全体で進めていく。また、毎日の授業の中で、複数の教員が児童に関わることで、きめ細やかな指導を行い、基礎・基本の定着を図る。

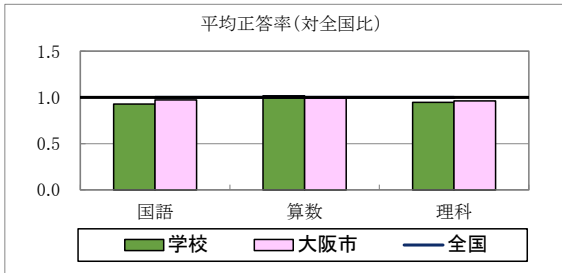
また、児童だけでなく保護者に対しても、懇談会や学年だより等を通して家庭学習や読書などの啓発を進めていくなど、家庭との連携を大切にしていきたい。

---

## 【 全体の概要 】

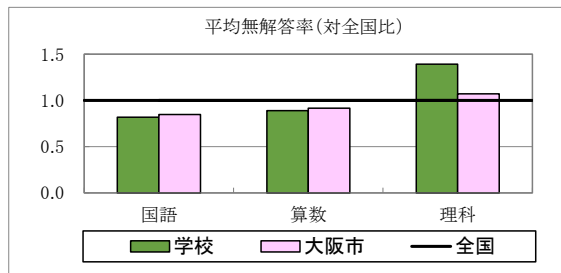
### 平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	62	59	54
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



### 平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	2.7	3.2	3.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



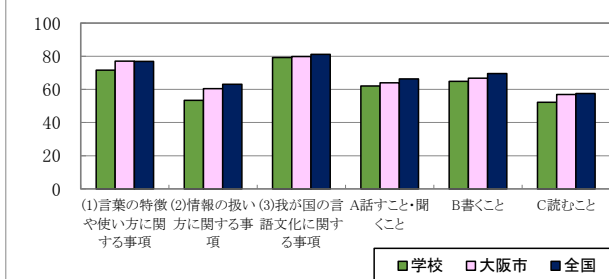
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	71.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	53.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	64.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	52.2	56.9	57.5

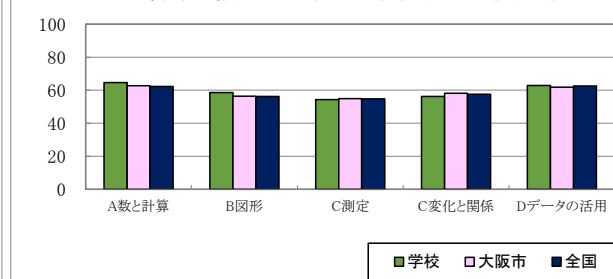
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.7	62.7	62.3
B 図形	4	58.6	56.4	56.2
C 測定	2	54.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.3	58.2	57.5
D データの活用	5	62.8	61.9	62.6

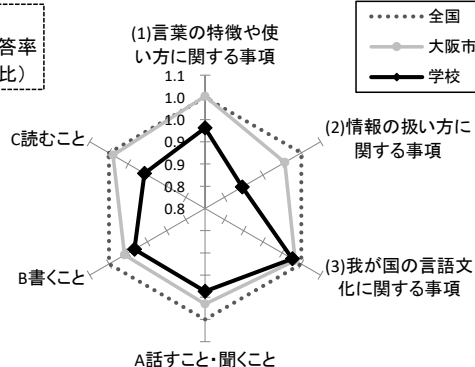
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



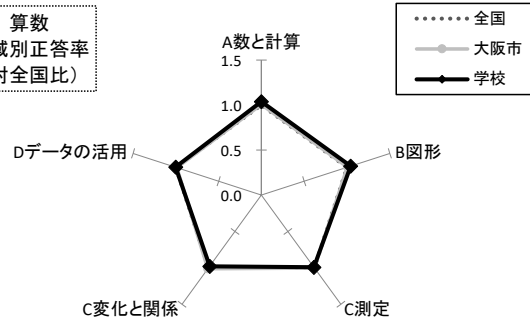
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

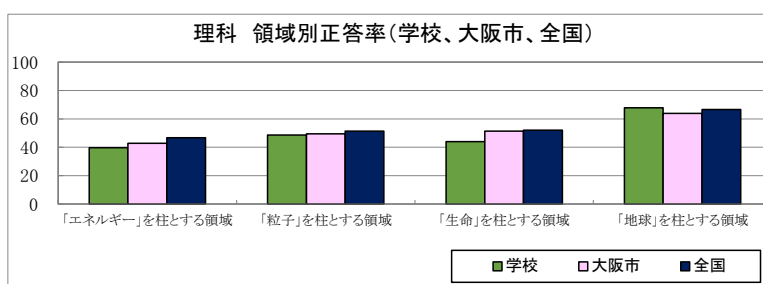


算数  
領域別正答率  
(対全国比)

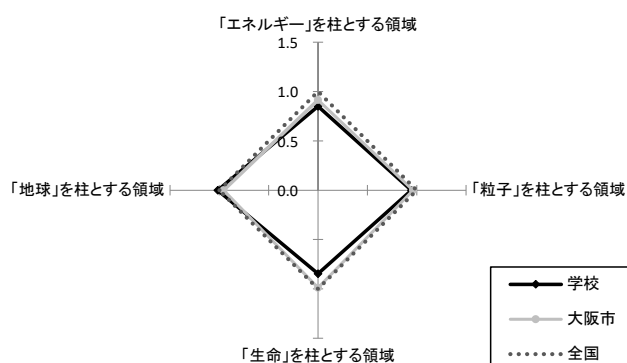


## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	48.6	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	44.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	67.8	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



## 児童質問より

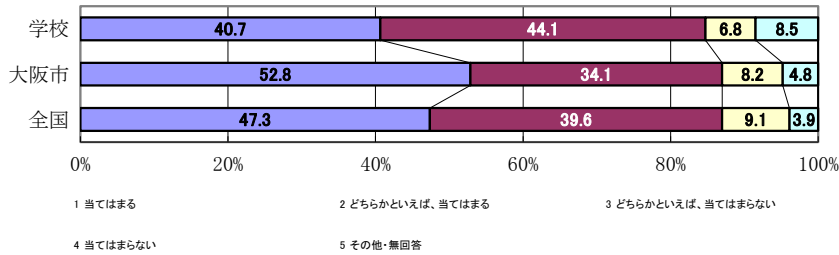
質問番号

質問事項

5

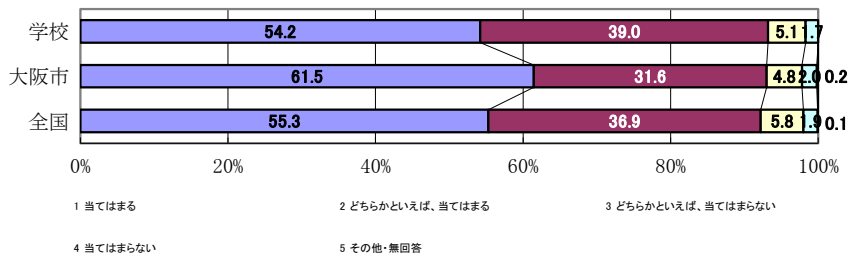
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



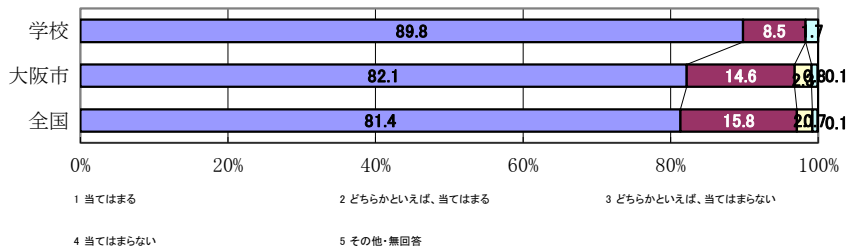
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



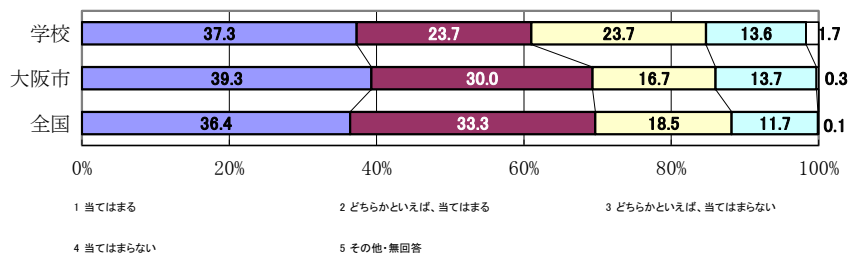
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



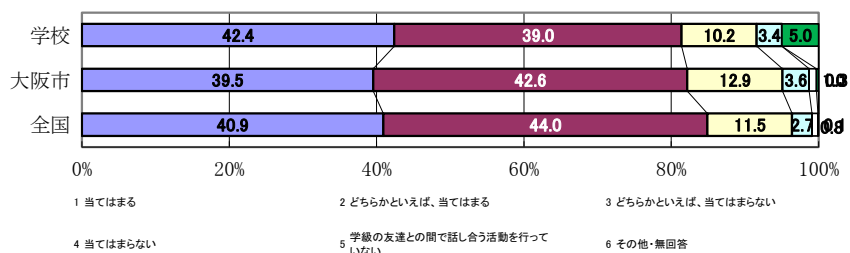
24

読書は好きですか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



## 学校質問より

質問番号

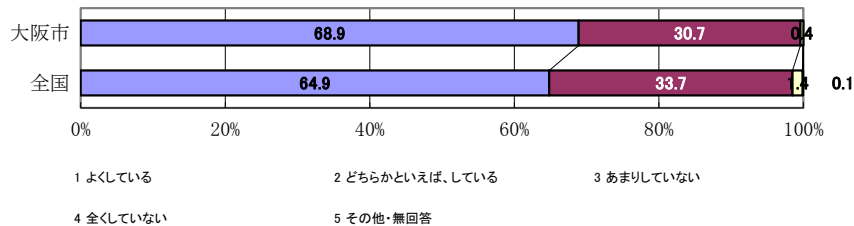
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

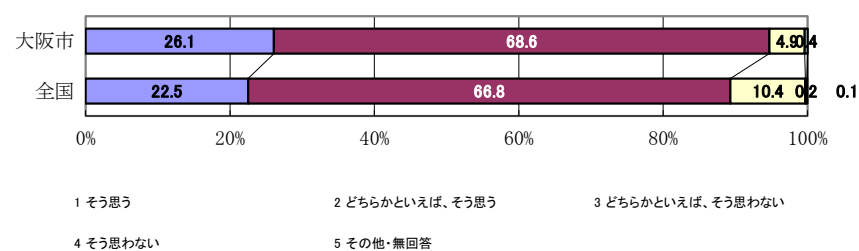
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

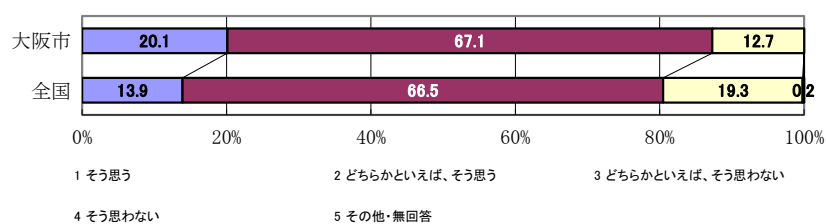
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

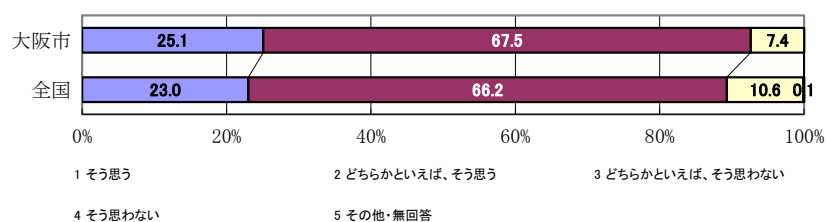
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

